

2月の主な行事予定

月	日	曜	内 容	放課後遊び
2月	1日	(木)	読書 安全指導 放課後鼓隊 なわとび月間	○
	2日	(金)	食育朝会 地区作品展片付け(放課後6年生) 入学説明会 水曜時程	○
	3日	(土)		△
	4日	(日)		△
	5日	(月)	全校朝会 (防災) 委員会活動 図書ボランティア(会議)	○
	6日	(火)	読書 鼓隊練習(6時間目)	○
	7日	(水)	体育朝会(なわとび) 研究授業(5年生以外は4時間授業)	×
	8日	(木)	読書 縦割り活動 放課後鼓隊 SC来校予定日	○
	9日	(金)	基礎学習	○
	10日	(土)		△
	11日	(日)	建国記念の日	△
	12日	(月)	振替休日	△
	13日	(火)	全校朝会 放課後鼓隊 若郷地区保護者会 SC来校予定日 早春読書週間	○
	14日	(水)	レク集会 水曜時程 5時間授業	×
	15日	(木)	読書 放課後鼓隊	○
	16日	(金)	読書 JET(日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業)	○
	17日	(土)		△
	18日	(日)		△
	19日	(月)	全校朝会 クラブ活動 クラブ見学(3年) ふれあい週間(~3月2日) 図書ボランティア	○
	20日	(火)	読書 鼓隊練習(6時間目) 薬物乱用防止教室(5・6年生)	○
	21日	(水)	委員会発表集会 6時間授業(3~6年生)SC来校予定日 水曜時程	○
	22日	(木)	読書 放課後鼓隊	○
	23日	(金)	読書	○
	24日	(土)		△
	25日	(日)		△
	26日	(月)	全校朝会 クラブ活動(最終) 図書ボランティア	○
	27日	(火)	読書 鼓隊練習(5時間目) 5時間授業	○
	28日	(水)	音楽朝会 4時間授業(一貫教育発表会のため) 卒業式全体練習 SC来校予定日	×

※2月の避難訓練は予告なしで実施します。

- 【生活指導目標】 自分で考えて行動しよう
- 【安全指導目標】 道の歩き方に気を付けよう
- 【保健指導目標】 姿勢を正しくしよう
- 【給食指導目標】 よい姿勢で食べよう



新島 学びの庭

No. 118 2月号
平成30年1月31日
新島村立新島小学校
学校だより

「子供たちのよりよい成長に向けて」

副校長 鈴木 正樹

近年、非行の低年齢化、子供たちの様々な問題行動が報道され、「子供を育てるのが難しい時代になった。」という声をよく聞きます。だからこそなおさら、学校と家庭・地域が手を取り合って、共通理解を図りながら、方法はそれぞれ違っても、同じ方向へ子供たちを育んでいくことが大切だと考えます。

本校は、その下地となる地盤が整っている環境にありません。これまで大きな問題や事故がなく、一人一人の子供たちが成長できているのは、御家庭や地域の皆様の多大なる御支援、御協力があればこそです。

以前に聞いた講演の中で以下のような話がありました。
「◎よい子供に育てたいならよい親になりなさい」

親の背中で子は育つのである。親がしっかりしていれば、子はしっかりとした人間に育つ。親が空を見て美しいと思うならば、子供も空に美しさがあることに気付くはずであ

二月一日(木)から通学路を本来のものに戻します。
郵便局前線道路路改修工事の終了に伴い二月一日(木)より通学路を変更していた児童の通学路を本来の通学路に戻します。
よろしく願います。

親が真善美聖なるものに憧れるならば、子供は喜怒哀楽に真つすぐに立つてであろう。親は人間としての先輩なのだから子供にとって参考になる行いをすればよいのである。

「親」の部分を「教師」に置き換えると、学校教育にも当てはまります。

学校でも、家庭でも「よい子に育てたい」「よい子に育てるにはどうしたらよいのだろう」とみんな頭を悩ませています。まず教師や親が「よい教師」「よい親」になること、人間の先輩として、子供たちの「参考になる行い」をすることが大切だと言えます。

「そんなことは、頭の中ではよく分かっているけれど、できないときもある」という方もいらっしゃるかもしれません。それでよいのだと思います。自分を振り返り、少しでも善くなろうと努力する。そんな親や教師の後ろ姿を見て、よい子供が育っていくのだと考えます。

これからも「子供たちのよりよい成長に向けて」、御家庭・地域の御支援、御協力をお願いいたします。

やぶ入り参観

親子レクを終えて

P T A 研修厚生部 島田 聖也 滝澤 亜弥
市川 賢治 平川 綾

「やぶ入り」とは、かつて商家などに住み込み奉公していた者が、実家へと帰ることのできた休日とされており、新島ではその習慣が休業日という形で受け継がれています。その日には、毎年、新島小学校で授業参観、道徳授業地区公開講座、親子レクが行われ、普段、小学校の様子を見る機会が少ない御家庭の皆様にも、楽しんでいただける日となっております。今年度は、N P O 法人 マナー教育サポート協会の岸田輝美さんにお越しいただき、『どうしてマナーが大切なのか?』というテーマで講演していただきました。相手が気持ちよく感じる挨拶や自己紹介の仕方などを実演も交えて分かりやすく教えていただきました。

また、今年の親子レクは、ランブケースの工作でした。子供たちが思い思いに、ランブケースに模様を描き、世界で一つだけの作品を仕上げることができました。親子での活動の様子は、とても微笑ましかったです。P T A 研修厚生部の部員の皆様、企画・準備・片付け等、御協力ありがとうございました。



「考えて行動する」

五年担任 島田 聖也

五年生になって、十か月が過ぎました。一日一日はたかが一日と思われませんが、その一日をどう過ごして来たかの積み重ねで成長の度合いが変わると考えています。

子供たちが、学校生活を振り返った時に思い出されるのは、移動教室や運動会、学芸会などの学校行事であり、授業でできるようになったことであり、トラブルや苦しいことを克服したことなどであると思われれます。

四月からの取り組みについても、常に「考えること」を言い続けることと併せて、「どう考えたらよいか」「どういう立場なのか」「どういう場なのか」など、考える視点や考え方を伝えてきました。「考える」と言われても、どう考えたらよいかは教えてもらわないとできません。「ただ待っている」「見守っている」は、何も育てていません。ただの放置、放任です。そうならないように、日々の学校生活を積み重ねてきました。子供たちは、次のように記しています。

「今年の運動会は今までで一番の運動会だったと思います。なぜかという、みんなが集中、努力、協力することに一生懸命だったからです。」
「僕の今年伸びたことは、漢字や宿題の字がきれいになったこと、運動ができるようになったことです。」

「私、また私たちのクラスはこの何か月間でいろいろな成長があった。その一つ目は、少しずつ少しずつけんかを止める人も増えて、友情も深まって、四年生のときと比べてけんかが減ったと思うことだ。」

「くろく自分の意識が変わったことの三つ目は、自分でよく考えることです。くろくどうすればうまくいくのかを考える意識が高まりました。」

五年生は着実に成長の階段を上っています。残り二か月間で「五年生としての仕上げは何か」「最高学年として必要なことは何か」を考え、実践させて、卒業式でバトンを受け継がせたいと考えています。

「ニセフ募金活動」について

一月十一日、十二日、十五日、十六日の四日間で、「ニセフ募金活動」を行いました。この四日間で合計、二二、二五五円もの募金が集まりました。御協力ありがとうございました。

こうした活動を通して、子供たちに「モヤイの精神」が身に付けばと思います。そして、人を思いやり、自分にできることを考え、実行できる子に育てたいと考えています。

〔校長/児童委員会〕

文集「ほーべえ」について

ほーべえ担当 大島 裕史

新島小学校では毎年、全校文集「ほーべえ」を作成しています。子供たちは、今の自分の思いや願いを書き残すために、一生懸命推敲しています。

さて、昨年末にこんな出来事がありました。私が実家に帰ったとき、小学校の頃の古い文集が出てきたのです。開いて読んでみると、書いてある自分の作文の内容は拙く、思わず笑ってしまうようなこともありましたが、しかし、「子供の頃は真剣にこういうことを考えていたんだな」と、子供の頃の自分の純粋さに感心することも……。まるで、子供の時分から手紙をもらっているように感じました。

この「ほーべえ」は、子供一人一人の成長を感じさせてくれるものであり、すてきな未来への贈り物にもなると思います。文集「ほーべえ」は、三月に発行する予定です。文集が配布されましたら、ぜひ、お子さんと一緒に「ほーべえ」について話し、温かい言葉をかけてあげてください。そして、宝物として未来に残していったら嬉しそうです。



- 一年 「おとなになつたら、やりたいこと」
- 二年 「ほく・わたしのせい長」
- 三年 「大好きな新島」
- 四年 「四年生の思い出」
- 五年 「五年生の思い出・がんばったこと・成長」
- 六年 「六年間の思い出」「将来の夢」

音楽室より

音楽 浅海 佳代

音楽の授業では、歌唱や器楽の他に、音楽をつくる学習を行っています。

一年生「ほしの おんがくを つくろう」から始まり、六年生「ドローンをもとに音を組み合わせる音楽をつくろう」と、学年に応じた内容です。

写真は、一年生「ものがたりを おんがくであらわそう」の学習です。効果音担当の児童は、物語に合わせ、おじいさんの歩く音、クワで畑を耕す音、ネズミと踊りを踊っている音など、いろいろな音を考えました。ネズミとおじいさんの交流の場面では、セリフが重ならないように、間が空きすぎないように、楽しい感じが表せるようにと工夫しています。演じた後は、良かった事と直したほうが良い事を話し合い、次の活動を行います。

音楽の楽しさを、様々な形で児童に紹介したり、体験させたりしていきたいと考えています。

